

仙台・黒川地域メディカルコントロール(MC) における病院実習及び症例検討会の取り組み

仙台市立病院

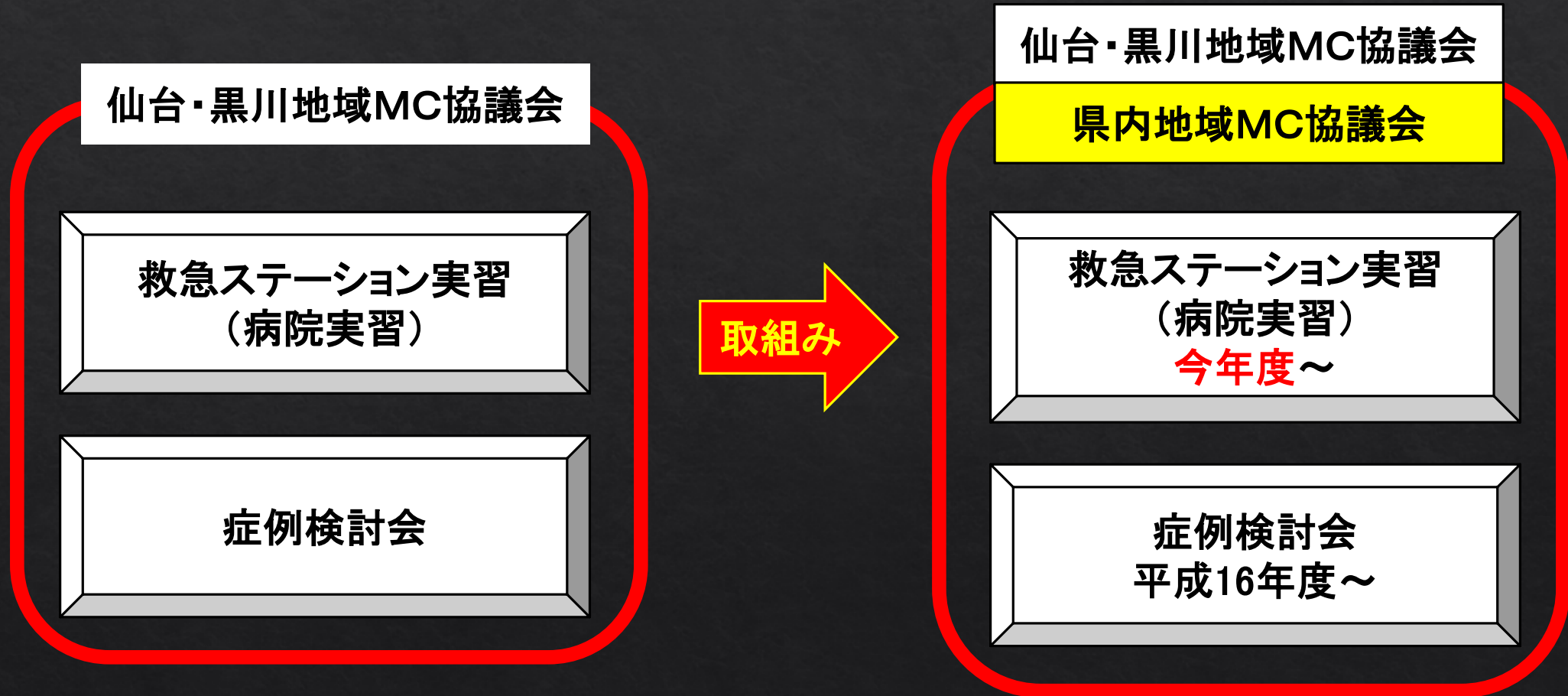


仙台市救急ステーション

仙台・黒川地域メディカルコントロール協議会

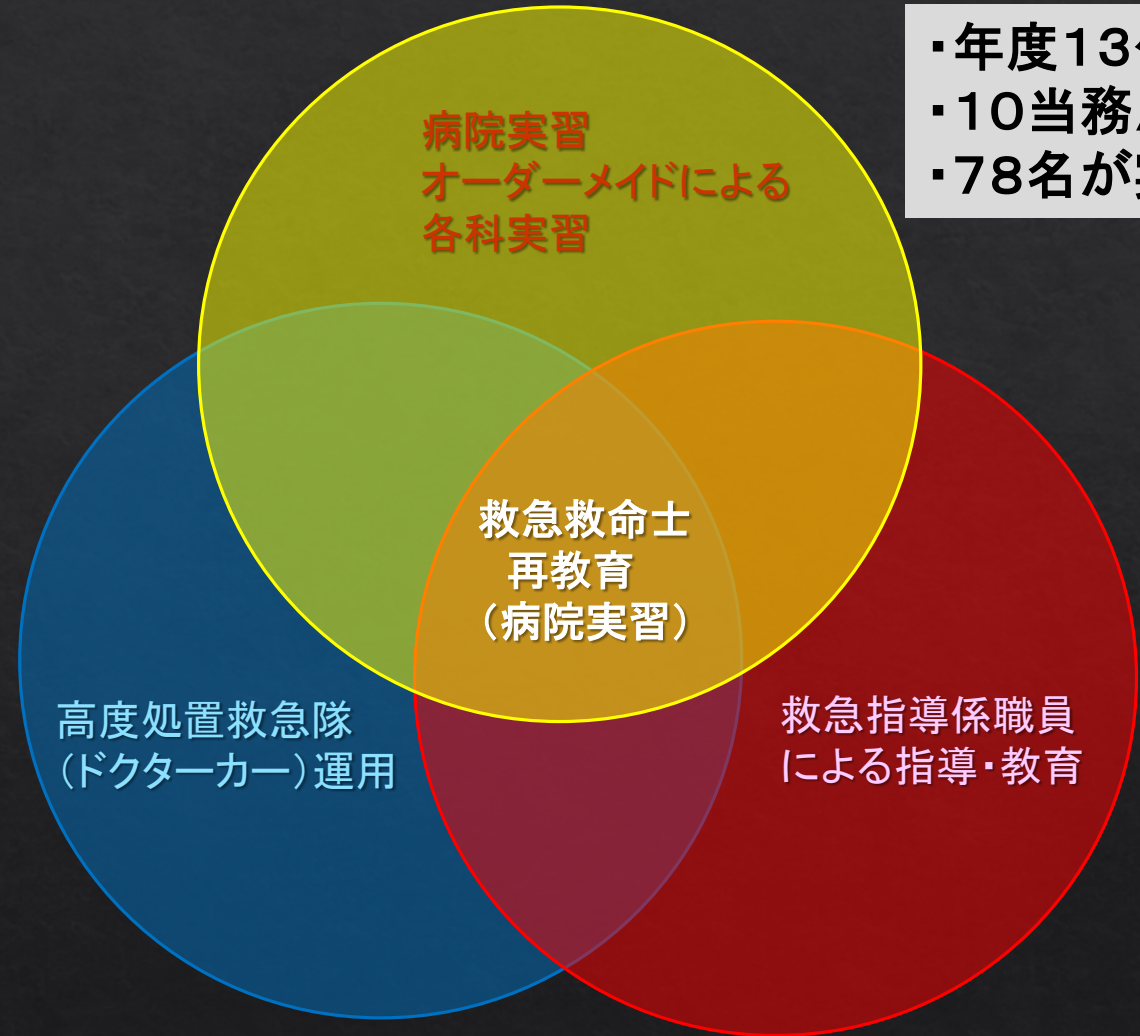
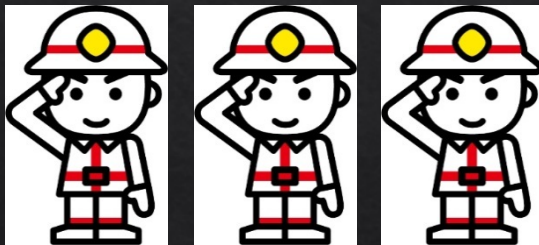
仙台市消防局 千田 真一

当地域MC協議会病院実習・症例検討会へ 県内他地域MC協議会救急救命士が参画



救急ステーション実習（病院実習）

- ・年度13クール
- ・10当務/1クール
- ・78名が実習実施



インホスピタル及びプレホスピタル教育の両立で、さらなる教育効果が見込まれる

病院実習

実習前に実習希望調査票を提出
(12項目の実習科目から希望6科目を記入)



病院実習コーディネーターが病院担当者と
希望調査票に基づき実習カリキュラムを作成



実習開始

実習科目	
1 心臓カテーテル	7 心電図
2 手術室	8 ICU
3 ME	9 医療福祉相談
4 リハビリテーション	10 放射線技術科
5 薬剤科	11 精神科病棟
6 感染対策	12 周産期病棟



救命救急センター臨床実習

仙台市消防局/仙台市立病院 併任
病院実習コーディネーター

仙台市救急ステーション
仙台 太郎



QQ まきむね君
伊達家伯記念會

病院実習コーディネーター

実習風景



薬剤科実習



放射線科実習



ME室実習



周産期病棟実習



ICU回診



実習コーディネーターを交えて協議

救急指導係員による指導



スキルチェック

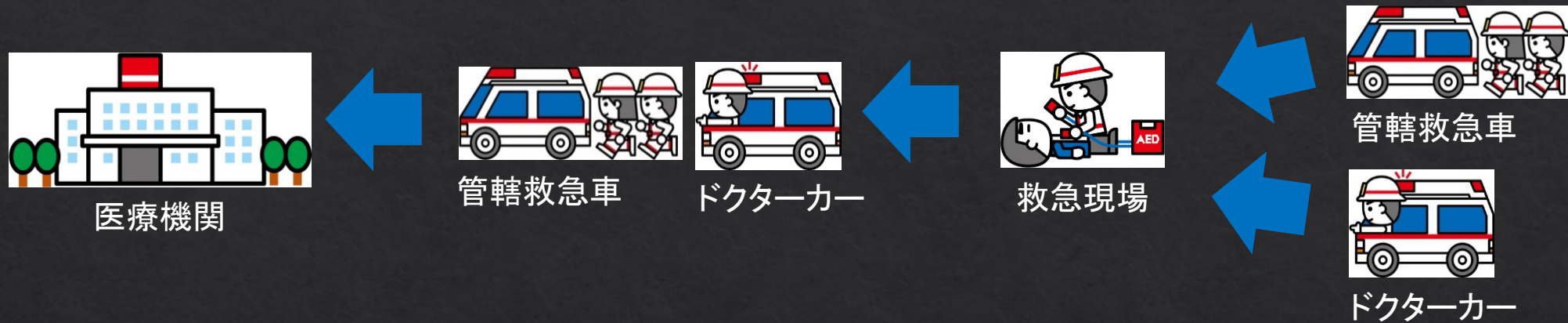


多数傷病者対応卓上訓練



病態等講義

ドクターカー運用



市内で発生した救急事案で、現場及び搬送途上に医師の救命治療が必要とされる事案、多数傷病者が発生した事案等に出場。

OJTの場で、観察・処置等について医師から直接指導を受け共に活動する。

医師と出場事案の振り返りを行うことで、手技のみならず高度な観察眼やフィジカルアセスメント能力を養うことができる。

症例検討会

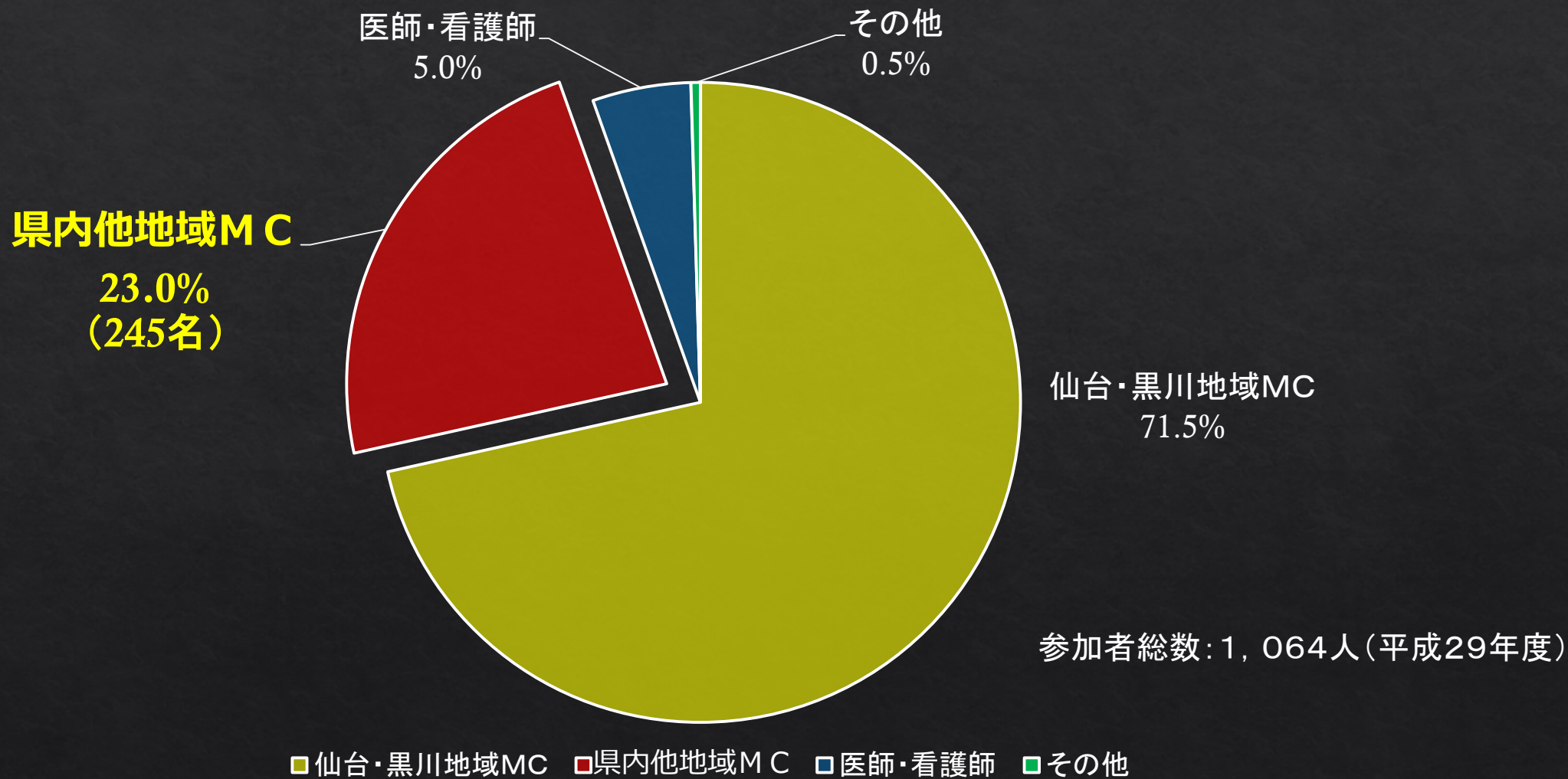
市内4MC医療機関持ち回りで、年度内に10回開催。

医師による約30分のミニ講義後、毎回4～5件の症例検討を実施。

当地域MC協議会関係者及び県内MC協議会関係者が参加。
平成29年度参加人数は平均110名



症例検討会参加状況



まとめ

- ◆ 当地域開催の病院実習及び症例検討会等に県内他地域MC協議会に所属する職員が参画している。
 - ◆ 地域MC協議会の枠組みを越えて、救急救命士等が病院実習、ドクターカーの運用を行っている。また、症例検討会の場で意見を交わしている。
- ↓
- ◆ 県内の救急救命士等の知識・技術の底上げの一助に繋がり、県内住民へより質の高い救急サービスが提供できる。
 - ◆ 県内の救急救命士等との「顔の見える関係」が構築され、広域災害応援等の際、より良い活動が展開できると考える。



ご清聴ありがとうございました。

